



「河の童-かわのわっぱ-」 川崎市公演 終了！

デフ・パペットシアター・ひとみ 第14回全国公演作品

「河の童-かわのわっぱ-」

初演である川崎市公演が無事に終了いたしました。

本公演に携わって頂いた、全ての方に心より感謝いたします。

初演を地元川崎市で公演することは、実に13年ぶりであり、川崎市で地域の方々と「観る会」を作ることは初めての経験で、デフパペとしては大きな挑戦でした。

公演を通じて地元川崎市で地域の方々と繋がることができ、デフ・パペットシアター・ひとみとして大きな財産を得ることができました。

今、デフパペメンバーで川崎市公演を通じて感じた、良かった所や直した方がいいところを話あい、稽古を重ねています。観て頂いた方々の意見も反映し、より良い作品になることを目指しております。

今年の夏から「河の童-かわのわっぱ-」で日本全国巡回公演をいたします。

お住まいの近くの地域での公演の際には、是非お越しください！



☆公演ニュース☆

デフパペ久しぶりの海外公演！

4月4日と5日に、一寸法師を公演しました！

4月4日は児童節と呼ばれる、台湾の子どもの日。多くの子どもたちが来てくれました！

セリフと手話が多いお芝居ですが、言語を越えて、笑ったり、驚いたり、とても暖かい雰囲気の中で、日本人のお客様も多くいらっしゃいました。



〒211-0035 川崎市中区井田 3-10-31

公益財団法人 現代人形劇センター内

TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570

e-mail : deaf@puppet.or.jp

URL: <http://deaf.puppet.or.jp/>

Twitter, Facebook もやっています！

Twitter DEAF_PUPPET

Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

3ヶ月に一度のこんにちは

善岡修

新作「河の童（かわのわっぱ）」川崎での初演無事に終わりました。

この作品において、内部や外部の人たちのほかにもそれらを支えてくれた

見る会実行委員の皆様など色んな方達の力が集結して素晴らしい作品が出来上がりました。

この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

「終わる」ということはまた「始まる」ことでもあるので、これまでの幾多の反省点を修正して、今度、旅公演で全国各地に回ります。（全国各地の皆様、河童と共にお会いするのを楽しみにしてください。）

最近見たテレビ番組で気になることがありました。

その番組は、長年放置している池の水を全部抜いて、外来種などを駆除し、国内種を守ろうという趣旨の番組だった。

編集された番組を見た時点では気がつかないのですが後にネットのニュースの見出しが踊り、なんでも外来種を駆除するべく池の水を抜いて、国内種を一時的に保管していた水槽が足りずにいっぱい死んでしまうという、

本末転倒なニュースだという。

しばらくして違和感も覚えてきた。

当初は、いったん池の世界をリセットして、選別して国内種を戻すというなにか見ている分には、神様になったような神様気どりの気分では自分は薄々気持ちがいいものではないと感じる。

池の中に私たちと違うものが入っているから排除しようという風潮が伝わるような気がします。

日本人というのを池の中にいる在来種に当てはめてしまっている自分がいるので、ちょっと怖いなあと思う。

いつかは日本中を巻き込んだ大実験で「日本中の酸素を抜きます」とかかって、色んな人種が排除されるのだろうか？

それともやっぱり河童のような普通じゃないものも排除されてしまうのだろうか？とテレビを見ながらふと思っ

てしまった。

新年度そうそうネガティブなこと考えてしまってごめんなさい。

でも、人形劇にはあり得ないことと有りそうなことのミックスでもあるので、そんなわけないとみるか、そういうこともあるかもしれないなど、この作品で自分自身だったらどう見えるか？色んな世界の見方を感じてほしいです。



By 大里千尋



By 中西優樹



約10年ぶりの海外公演の舞台は台湾でした。

作品は一寸法師だったので、手話やセリフが若干多いことが気掛かりでしたが、

会場に一寸法師の物語が書かれた大型パネルを準備してくれたり、公演前に現地スタッフの方が物語を説明してくれたり、内容をより理解できるように万全の準備をしてくれていました。

3日間4公演の弾丸でしたが、特に台湾の子どもの日にあたる4月4日の公演には、多くの子どもたちが集まり、賑わいました。

お地蔵さんや、鬼の存在など、日本特有の文化にも興味をもたれる方が多く、自国の文化をしっかり伝えることの出来る知識も必要だと改めて思った次第です。

また台湾の手話も事前に榎本さんと調べてみたのですが、分からないまま、お楽しみ交流会では日本の手話をいくつかご紹介しました。

帰り際に「ありがとう」や「楽しかった」と手話で子どもたちが感想を伝えてくれたのをみて、興味をもってもらえたことが嬉しかったことと、現地の手話をお伝え出来たら今後台湾の中であろう者の方と出会った際に、コミュニケーションに繋がるであろうな一と、今後の海外公演の際にはその国の手話も勉強して行きたいなと思いました。

私にとっては初めての海外公演、子どもたちが大きな歓声をあげて楽しんでいる姿をみて、生の舞台は言葉の壁や障害のあるなしなどの違いを軽々と越えて一緒に笑い、楽しむ空間を創ることが出来る、その素晴らしさを改めて教えてくれました。

「河の童」川崎市公演が無事に終了いたしました！

この川崎市公演のために、多くの人にお世話になりました。

僕が1年前にデフに入った頃、まだタイトルも決まっていなかった。まだ僕が入って2ヶ月も経っていない頃、デフメンバーと脚本の立山さんと一回目のヒアリングがあり、そこで話しあってタイトルが決まったことが、もう随分昔のような気がします。

その時には、まだ右も左も分からなく、新作のためにやるべきこと、自主公演というのはどういったことをやるのかということに全然イメージできていませんでした。

この一年間、「河の童」川崎市公演に携わり、大変なことも多かったですがとても良い勉強ができたと思います。

右も左も分からなかった昔に比べて、少しは前の見方が分かるようになりました。

企画の初めの方から、作品に携わることができたのはとてもいいことだったと思います。

作品がどうやって作られているのか、一つの作品ができるまでにどういった工程が必要なのかということを知ることができたこと、作品にかけるメンバーも思いを知ることができました。

川崎市公演で経験したことを活かして、全国の皆さんにこの作品をお届けすることができればと思っています。

また色々な地域で皆さんとお会いできるのを、楽しみにしています！